

# 病害虫発生予察情報

## 9 月月報

平成 22 年 10 月 15 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況

2010 年 9 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	33.5	4.8	24.2	2.9	28.1	3.4	46.0	98	79.0	169
中旬	29.7	3.7	20.8	1.5	24.9	2.5	99.5	105	54.6	153
下旬	24.3	0.6	16.4	-0.8	19.9	-0.3	286.0	315	37.6	113
平均	29.2	3.1	20.4	1.2	24.3	1.9				
合計							431.5	193	171.2	148

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬はかなり高く、中旬は高く、下旬は低かった。

降 水 量：上・中旬は多く、下旬はかなり多かった。

日照時間：上旬はかなり多く、中旬は多く、下旬は平年並だった。

#### < 天候概況 >

上旬：8日から9日の昼頃にかけて台風第9号とその台風から変わった熱帯低気圧の影響で大  
雨となった。その他の日は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れた。

中旬：初めと終わり頃は高気圧に覆われて晴れた。13日から14日にかけては寒冷前線が通過  
し、16日には関東南岸を低気圧が通過したため、曇りや雨となった。特に16日は東京  
(大手町)で朝を中心に大雨となり、日降水量98.0mmを観測した。

下旬：移動性の高気圧に覆われて晴れる日もあったが、23日には関東甲信地方を前線が南下  
し、また27日から28日にかけては前線を伴う低気圧が関東南岸を通過したため雷雨と  
なった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

9月下旬が収穫期のピークとなった。収量は平年並であった。

#### (2) 野菜

果菜類：抑制トマトは8月～9月上旬の高温により、1～2段目は裂果が多く、小玉傾向  
で、生育もやや不良であった。ナスはつやなし果が減少し、概ね順調に経過した。  
イチゴは8月期の高温の影響により、花芽分化が遅れ、定植も7日～10日程度遅れ  
た。

葉根菜類：コマツナの生育は概ね順調であったが、ハウレンソウは上旬の高温の影響によ  
り遅れぎみとなった。キャベツやブロッコリーは定植時の高温乾燥の影響により、  
2週間程度生育は遅れている。定植の遅れに伴い大苗での定植となったので、今後

の生育が懸念される。また、ハイマダラノメイガの被害が多くみられた。ネギは生育が遅れ、土寄せができていない地域がみられる。ダイコンは乾燥の影響により、播種が遅れ、7～10 日程度生育が遅れている。ニンジン高温乾燥に伴う発芽不良や播種時期の遅延の影響を受け、3 週間～1 か月程度生育は遅れており、出荷遅延が予想される。

いも類：サツマイモの生育は概ね順調であった。サトイモは生育が不良で、収穫への影響が懸念される。

### (3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：各品種とも平年より早い収穫始及び収穫終となった。

巨峰：収穫始 8 月 30 日（- 8.5 日） 収穫終 9 月 16 日（- 3.8 日）

安芸クイーン：収穫始 8 月 30 日（- 5.3 日） 収穫終 9 月 24 日（- 3.8 日）

シャインマスカット：収穫始 9 月 6 日（- 11.0 日） 収穫終 9 月 27 日（- 6.3 日）

ナシ：豊水とあきづきでは平年よりもやや遅い収穫始及び収穫終となった。

幸水：収穫終 8 月 30 日（- 1.2 日）

豊水：収穫始 9 月 6 日（+ 4.1 日） 収穫終 9 月 24 日（+ 8.5 日）

あきづき：収穫始 9 月 17 日（+ 4.6 日）

### (4) 茶樹

適度な降雨があり、生育は概ね順調であった。

## 3 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### (2) 果樹の病害虫

#### ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

#### 果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アオマツムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

## ( 3 ) 茶樹の病害虫

炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## ( 4 ) 野菜の病害虫

## トマト

黄化葉巻病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 一部多 >	発生は一部地域でやや多かった。

オンシツコナジラミ

&lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

タバココナジラミ

&lt; 並 &gt; 発生は平年並であった。

## キュウリ（施設）

うどんこ病 &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

褐斑病 &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

べと病 &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

ハスモンヨトウ &lt; やや多 &gt; 発生はやや多かった。

トマトハモグリバエ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

## ウリ類

トマトハモグリバエ &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

ワタヘリクロノメイガ &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

## ナス

うどんこ病 &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

ミカンキイロアザミウマ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

アブラムシ類 &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

オオタバコガ &lt; 多 &gt; 発生は多かった。

チャノホコリダニ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

## ピーマン

モザイク病 &lt; やや多 &gt; 発生はやや多かった。

タバコガ類 &lt; 多 &gt; 発生は多かった。

## キャベツ

黒腐病 &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

コナガ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

ヨトウムシ類 &lt; 並 &gt; 発生は平年並であった。

オオタバコガ &lt; 多 &gt; 発生は多かった。

ネギアザミウマ &lt; やや多 &gt; 発生はやや多かった。

## コマツナ

炭疽病 &lt; やや少 &gt; 発生はやや少なかった。

コナガ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

## ダイコン

軟腐病 &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

アブラムシ類 &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

## アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ &lt; 少 &gt; 発生は少なかった。

ヨトウムシ類 &lt; 並 &gt; 発生は平年並であった。

ハイマダラノメイガ	< 多 >	発生は多かった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
黒葉枯病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 並 >	発生は平年並であった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 多 >	発生は多かった。
オオタバコガ	< 多 >	発生は多かった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネキリムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
 ( 5 ) 花きの病害虫		
キク		
黒さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
シクラメン		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 ( 6 ) 植木の病害虫		
庭木及び街路樹		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンクロシャチホコ	< やや多 >	発生はやや多かった。 梢全体が食害されている木もある。
トチノキヒメヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
プラタナスゲンバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
植木類		

コガネムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

(7) 島しょの病害虫

新 島：アシタバ及びアブラナ科野菜でアブラムシ類、サツマイモでナカジロシタバ、豆類でカメムシ類の発生が多かった。

神津島：アシタバでアブラムシ類の発生が多かった。

小笠原：ハイビスカス・オクラ・ナスで、フタテンミドリヒメヨコバイの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	9月9日	10月13日	0	0
大田市場	9月9日	10月13日	0	0
板橋市場	9月9日	10月13日	0	0
淀橋市場	9月9日	10月13日	0	0
北足立青果市場	9月9日	10月13日	0	0
小平青果市場	9月6日	10月5日	0	0
八王子北野市場	9月6日	10月5日	0	0
昭島市場	9月6日	10月5日	0	0
国立市場	9月6日	10月5日	0	0
東久留米市場	9月6日	10月5日	0	0
備考：東久留米市場のウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップで、ミスジミバエ雄2頭が誘殺された。				

テレフォンサービス

0 4 2 ( 5 2 5 ) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法  
などをお知らせしています。